



医療法人 真生会

真生会富山病院

SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

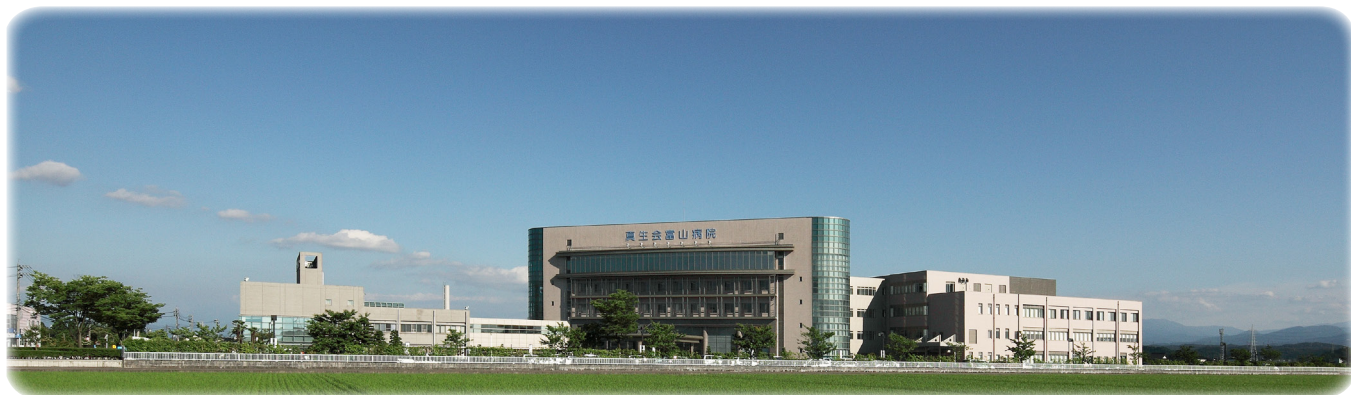
第28号 令和3年7月発行

〒939-0243 富山県射水市下若 89-10

TEL : 0766-52-2156 FAX : 0766-52-2197

<https://www.shinseikai.jp/>

地域連携だより



新型コロナウイルスへの対応

副院長 医局長 なたづか としき 刀塚 俊起

地域の先生方におかれましては、新型コロナ対応、また今はワクチン接種で大変ご多忙の毎日と思えます。当院も先生方と協力して、一日でも早い新型コロナの収束と、ワクチン接種を目指して日々奮闘しています。

当院は99床という中小病院であるため新型コロナ感染患者を受け入れることができず、昨年4月に発熱外来をいち早く設けて新型コロナ患者のトリアージを行いました。

第二波の前、昨年6月には臨時病室を2床、病棟から離れた場所に設けました。新型コロナウイルスが疑われた場合に一時的に入院するためのベッドです。その後、第三波が来た2月から、新型コロナウイルス感染が認められた場合に、重症度診断を行うことになりました。そして、このたびの第四波で射水市も大きな波を受けたことを契機に、2床ではありますが、新型コロナウイルス患者の受け入れを開始いたします。



当院では管理棟1階を利用して新型コロナウイルスワクチンの集団接種(完全予約制)を行っています。

ワクチン接種においては、射水市のワクチン接種を迅速に進めるために、一週間に1000人の接種を行っております。(令和3年6月時点)

先生方から当院へご紹介いただいた患者さんの症状について、迅速かつ詳細にフィードバックできるシステムを現在準備中です。

変異株による第五波に向けての警戒が必要です。皆さんと協力して市民の健康を守ることができるよう、一層努力してまいりたいと思います。

病診連携の会

当院では2ヶ月に1回、近隣の開業医の皆様にご参加いただき「病診連携の会」を開催し、紹介患者さんの症例検討をしています。会場は当院5階の大講堂ですが、昨年からは「Zoom」を利用してオンラインでの参加も可能となりました。5月27日(木)は、下記の内容で行われました。

◆◆5月のプログラム◆◆

【特別レクチャー】

○急性腹症で知っておきたい画像診断～腹膜垂炎～

厚生連高岡病院前院長 きたがわ きよひで 北川 清秀 先生

【症例】

○70代 女性 特発性血小板減少性紫斑病：のざわクリニック

(内科・瀬川 莉恵子)

○80代 女性 肝膿瘍：島崎内科医院

(消化器内科・本藤 有智)

【臨床推論カンファレンス】

*当院での症例を通して、病歴、検査所見などから診断を推論するカンファレンスです。

○嘔吐を繰り返す進行胃がんの女性

(消化器内科・真野 鋭志)

腹膜垂炎について

開業医の先生方や第一線の病の先生方が、経験されることが多いと思います。一応急性腹症の範疇の一つに数えられますが、意外と知られていないのではないかと存じます。

結腸ひもに垂れ下がっている腹膜垂のねじれや血流障害で起こる病態です。検査所見では異常はあっても軽度、発熱を伴うこともほとんどなく、治療は鎮痛剤にて対症的に行われ、手術対象となることはまずない疾患です。鑑別診断としては憩室炎、虫垂炎、腹膜脂肪織炎、尿管結石などです。CTにて木の葉型の脂肪濃度の中心部に葉脈のような線状影を認め、周囲脂肪織濃度上昇があります。この特徴的な所見をとらえられれば、診断は一般的に容易です。

厚生連高岡病院 / 放射線科 北川清秀



診療体制の変更・消化器内科 (令和3年7月)

令和3年7月2日金曜日から、消化器内科の夕方外来(月・水・金)が変更になりました。診察は南館1階内科(内科診察室3)で行い、予約制です。

【担当医】

・月曜日：かわい さとる 河相 寛 医師

・水曜日：もとふじ ゆうち 本藤 有智 医師

・金曜日：ひらな ひろふみ 平名 浩史 医師

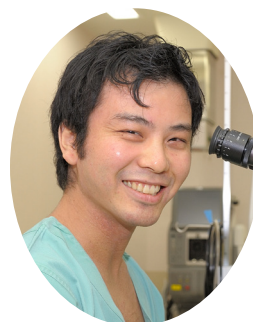
大変ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

眼科（アイセンター）特集 ～第2回 視能訓練士～

アイセンター長 うえた よしき 植田 芳樹

年に1回、眼科（アイセンター）の記事を書くことになりました。第2回は視能訓練士についてです。

「物が見える」といっても、視力、色覚、視野などいろいろあります。また眼球の中は真っ暗で、特殊な機器で撮影しないと何もわかりません。そのため、眼の機能や病気の評価のために、数十種類もの検査が存在します。その眼の検査のスペシャリストが視能訓練士です。



当院には20人の視能訓練士がいます。検査をしっかりと行うことで、正確な診断治療につながり、安心満足の医療のためには大切なことと考えているからです。

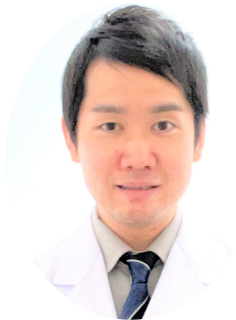
当院の視能訓練士は、科長を中心にさまざまな工夫を行っています。より専門性を高めるため、8つの専門チームを作り、各分野のスペシャリストを育成しています。また、接遇面や協調性、サポート姿勢など人格形成の向上にも力を入れ、「個人能力推進制度」という独自の評価制度を組み入れています。全国学会のシンポジウムで、当院の視能訓練士の教育システムを発表する機会もありました。

それらで鍛え上げられた視能訓練士は、どの病院に出ても恥ずかしくない、私の誇りです。しっかりとした接遇、検査で、患者さんをお待ちしています。



前列左から4番目が視能訓練科科長のたてひでお楯日出雄視能訓練士

新任医師の紹介（令和3年4月1日付け）



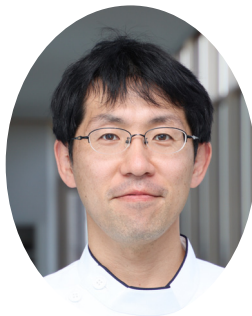
【眼科】

ささじま ひろふみ
笹島 裕史 医師

今年で眼科7年目です。未熟者でございますが、日々患者さんを通して勉強させていただいております。これまで、網膜疾患（網膜静脈閉塞症）をメインに診療、研究してまいりました。臨床で生じる「なぜ？」という疑問を大切に、今後も患者さんのために診療していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

●パワーフレーズ（座右の銘）

一期一会



【心療内科】

たかぎ ひでまさ
高木 英昌 医師

富山大学出身、浜松医科大学で研修しました。専門は、成人および児童の精神科・心療内科です。病院の強みを活かし、不定愁訴、心身症などにも積極的に関わっていければと思っています。また、医食同源の精神栄養学も研鑽しています。「困った子は、困っている子」「つながりができれば大体はうまくいく」をモットーに、診療していきたいと思えます。

●パワーフレーズ（座右の銘）

奪い合えば足りぬ、分け合えば余る



【内科】

なみかわ たいき
並河 大器 医師

4月から真生会富山病院の内科・消化器内科に勤務しています。富山大学出身の医師4年目です。大学の総合診療部に所属しており、総合診療専門医の取得を目指して研修中です。力不足のことも多いと思いますが、射水市の皆様の健康増進に少しでも寄与できればと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

●パワーフレーズ（座右の銘）

実るほど頭を垂れる稲穂かな

※偉くもないくせに、すぐにマウントをとりたがる自分への自戒を込め